

グリーン会 会報

APR
2015
Vol.1



家族会員

22

家族

44

人

個人会員

33

人

合計

55

家族

77

人

2015.4.15 現在

～医療講演会のご案内～

街路樹には若葉が茂り、気持ちのよい季節を迎えています。会員の皆様はその後、いかがお過ごしでしょうか。

さて、グリーン会では5月23日(土)午後3時から医療講演会を予定しています。今回のテーマは会員のジョン・ハさんの「健康で若さを保つ秘訣」を伝授して下さいます。奮ってご参加下さい。

..... 記

日時：5月23日(土) 3:00pm～4:30pm

場所：Japanese Baptist Church
of North Texas

6040 Alpha Rd., Dallas, TX 75240

講師：ジョン・ハ

*****目次*****

■ 会長の挨拶.....	2
■ 役員紹介	3
■ 新会員紹介.....	6
■ 会員広場私の 85 年	7
■ ニュース自動車ステッカーが1枚に....	9
■ 領事館からのお知らせ 竜巻についての注意喚起.....	9
平成 27 年度 領事手数料の変更	10
■ グリーン会からのお知らせ マーク・サイプさんが会員に...	11
2015 年度会員名簿.....	11
記事・投稿のお願い	11

会長挨拶

「鏡の意味」そして「反省」

高松 文三

生まれも育ちもテキサスの長男が、日本でやることがあると言い出し、その引越しの手伝いを兼ねて、一週間ほど休暇を取った。

三月下旬とはいえ、東京はまだまだ冷え込みが強く、改めて自分の準備の悪さに苦笑いしたことである。半蔵門にあるホテルからは、靖国神社までは歩いて十分。早朝の靖国神社は、寒いが、じつに清々しく、知らぬ間に背筋がピンとなる。着いた当初、さくらの花には早すぎると懸念していたが、一週間が経ち、帰る頃には七、八分咲きの桜並木が見れて誠に幸いなことであった。

息子の願いに応じて特別料金を払って、昇殿参拝をした。まだ二十代と思しき宮司さんに本殿まで案内してもらったが、朝の凜とした空気もあいまって、肅々とした雰囲気の中で、否が応でも身が引き締まった。本殿の正面には精巧な細工を施した額に縁取られた大きな鏡が据えてあり、それを見た途端思わず大声を上げそうになった。おそらくあの鏡は「世の中はあなたの反射で

すよ」という意味なのだろう。平和な世の中を見たいのであれば、まず自分の心の中を平和にきなさいと言っているのではないか。嫌なものがやたら目に付くのは自分の中に嫌なものが鬱積しているせいではないのか。日常眼にするものは、実はあなた自身なのだということ象徴しているに違いない、と勝手に納得してしまった。それが分かっただけでも

たいへん有意義な参拝であった。

今年は「反省すれども、後悔せず」をモットーにやっていくつもりでいるので、以下のことは書きにくい気もするが、後悔ではなく、あくまでも将来に活かす反省点として、二月の新年会兼総会について触れたい。

1、増田数江さんに黙祷を捧げるべきであった。お亡くなりになる前日に小川さんとお見舞いに行きました。風のやたらと強い、寒い日で、私は穏やかなお顔をして眠っている数江さんの暖かい手を握って、自身の冷たい手を温めてもいながら、数馬さんのお話を聞きました。まだ意識がはっきりしている時に、数江さんが、何度も何度も数馬さんに「ありがとう」を繰り返したそうです。そう言いながら、数馬さんも泣いていました。数江さんは、大往生でした。

2、黒石さんに、正式に、お礼を述べるべきだった。今まで、我々は、黒石さんに甘えて、当然のごとくお宅を使わせてもらってきました。思えば、本当に有り難いことで、黒石さんの寛大さには真実頭が下がります。遅きに失すの感はありますが、この紙面を借りて、改めて黒石さんにお礼

を述べたいと思います。「本当に長い間、お宅をグリーン会のイベントに使わせて下さって有難うございました。」

3、名誉会長の件、一度は承諾しておきながら、松田さんに押し付けようと悪あがきするべきではなかった。

以上三点、後悔ではなく、反省点ですので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。



2015年度 役員 自己紹介

◎ 副会長：平嶺多美子

私の出身は日本本土最南の地、鹿児島。父は一級建築士のはしりで免許は一桁だったと聞いています。父の仕事の関係で私は韓国の仁川で生まれました。終戦で父の生まれた鹿児島に引き上げ、高校まで指宿で過ごしました。

6年生の卒業と共に大学に入るのが夢で、一人で下宿して町の学校に通っていました。よく遊びよく勉強する女の子として育ちました。後に大学で栄養学を学び、卒業後タイで栄養士として働き、其後、アメリカに留学して現在に至っております。

創始者の一人に役員になってもらいたいとの要求に「ハイ」と、返事をして以来、今だに役員の一員として名を連ねております。最年長の役員となりつつありますが、私がグリーン会に入った時より経済的な面、時代の変化、色々な必要性など変わってきており、在住日本人の為となり、また皆で楽しく集える会として継続していけるよう願っています。

◎ HP、渉外担当：柴山 佳久

私は2013年11月にDallas（正確にはEules）に戻り、2014年にGreen会に家族で再加入したばかりでした。しかし、Green会存続が危機にあると知り、会は継続すべきとの熱い思いから2015年度の役員に立候補したところ、何と黒一点（俗語）の役員となってしまい、この年でも恥ずかしいやら、嬉しいやらです。男性会員の立場からの運営と、高齢者の相互補助に奮闘したいと思います。

振り返ればDallasに初めて滞在したのは1989年です。1983年からNY州Melville市に出向していたのですが、部門

の事業改善のため、Irving市で通信機器を生産していた工場に移転することになりました。当時の現地人からはTX州への引越は外国に行くようなものと言われ、大多数の社員は辞めました。（もちろん、それも再建のための方策でしたが）しかし私は出向者の身なので新天地に出向き、そこで社員を雇って組織の再構築に邁進し、半年滞在しただけで帰国となりました。その時は、日本人とは社内での交流がほとんどで、Dallasに来る前に描いていた砂漠やサボテンも見ることはありませんでした。

2度目のDallas生活は、4年後の1993年に2度目の出向となったためです。その時は単身赴任でGolf三昧、我流でしたが上達もみられ、やっとアメリカ人にも勝てるものが身につけられたので、職場でも大いに役に立ちました。これは出向者が成功する要素の一つだと思います。Dallasに長期滞在したお陰でいろいろな経験もしました。特筆すべきは未だ持ってその理由が不明なJail一泊体験（体験談は別途）と、お土産としてGreenカード取得申請の大失敗談です。先ず取得のため永住権宝くじに応募しましたが、宝くじ同様当たらず、遂にはWashington DCにオフィスがある永住権取得代行業者に依頼してしまいました。確か\$250/月を1年間支払えば取得できるというもので、その間各種書類を提出させられたり、途中経過が送られてきたりして順調に進んでいると思っていましたが、だんだん情報が来なくなり、電話での応答も杜撰になってきたので怪しいと気づき、途中で支払いを停止しましたが、後の祭りでした。

それでも諦めきれず、職場の人に相談したところ、永住権取得を取扱うIrvingの弁護士

を紹介してもらうことができました。今回はオフィスに出向いて話をした結果、永住権取得が可能であると言われたので、その人に依頼しました。手続きも順調に進み、次は面接というときに帰国命令がでてしまい、未練を残し10年滞在したDallasを後にせざるをえませんでした。

元職場に復帰して半年程度経過したとき、どのように調査したのか日本にいる私にWashington DCの裁判所から、何と私を騙した代行業者に対する法廷の証人に立ってくれないかと依頼がきました！ 今後も証人として出廷することはないだろうと思われ、旅費は裁判所が負担するということがあったので、会社には休暇届を出して引き受けました。憎き被告人を見ながらの証言がどれだけ役立ったか不明ですが、ヒスパニック系だった彼はアメリカから永久追放となったと聞きました。もちろんお金は戻ってきませんが、僅か5分程度の証言のためホテルや裁判所の控え室での待時間が長く、1週間も費やしてしまいましたが良い経験ができました。

永住権申請は、有難いことに帰国後も有効になっていて、日本のアメリカ大使館にて簡単な面接を受け、最後に最重要なアメリカでの身柄と仕事を保証するという誓約を、会社にいた度量の広い同僚に公証弁理士の前でサインしてもらい、その書類を提出してやっと認可されました。その時は、これで日本、アメリカ両方に自由にいつでも住めることになったと思い、将来の可能性が広がり感激しました。

しかし、その後のアメリカ出張では、入国するたびに許可をすんなり貰えず、別室に行くよう指示され、長時間待たされた挙句、いつアメリカに定住するのかと詰問されるはめになってきました。よくよく考えてみれば、アメリカに定住するためのビザなので、日本で生活しているのは不自然なのですが、遂に

はビザを放棄して日本に留まるのか、アメリカに移住するかを選択を迫られ、折角苦労して手に入れた永住権を放棄できず、2005年に早期希望退職をして、慣れ親しんだDallasに移住する決断をしました。

Dallasに移住はできましたが意中の会社には就職を断わられてしまい、就活を開始したものの年齢もあってか中々採用まで行かず、悶々としながらアルバイトを余儀なくされていきました。その間ダラスGreen会にも加入し、Golf会主催のCliff Resortへの1泊旅行にも参加していました。そんな中、2回目のDallas時代から面識があった永迫さんからLA地区にある会社を紹介され、就職第一だったので2つ返事で引き受け、3度目のDallasは1年半住んだだけで引越しました。

Dallasとは別天地のCA州Irvine市に7年間住んでいましたが、住居費の高騰等で、Wifeの娘や孫たちが住むDallasに4度目として仕事と共に舞い戻りました。

今までの軽々しい決断が良かったのか分かりません。それは終わりのときに判るもの。人生第4コーナーを回ってしまい、まだDallasを終の棲家とするかも決めていませんが、ラストスパートは趣味と小さな恩返しを楽しみたいと思っています。

◎ 会計担当：水野 美江子

今回グリーン会が存続するか消滅するかの危機になっていると知り、今まで楽しませて下さったグリーン会が続けられるように役員をする事にしました。会員の皆様からのお金を扱う大役ですが、責任を持って管理させて頂きますので、どうぞ宜しくお願いします。

私たちは前役員同様に楽しんで頂ける会にしたいと考えております。皆様からのご協力を宜しくお願いします。

もう少し書いてほしいとの事ですので追記します。

私は川端康成の「トンネルを抜けるとそこは雪国だった。」でお馴染みの小説「雪国」にも出てくる新潟県小千谷市の生まれです。そこには6歳までしか居ませんでした。軒先まで積もる雪で近所の人々が声をかけてくるのが軒先からでした。また一日中裸電球が点いていましたが、家の中は火鉢だけでも暖かかったのを覚えています。

小千谷市は信濃川の清流を利用して錦鯉の養殖が盛んに行われています。また雪の上に晒す小千谷縮緬（ちりめん）も有名です。でも新潟と言えば一番知名度があるのがお米「こしひかり」です。亀田や三幸のおせんべも新潟なのです。皆さんご存知の雑炊または「おじやご飯」も小千谷から出たのでしょうか。

食べ物の話になると長くなるのでこの辺で終わりにします。

◎ 連絡担当：VERNON 由美子

グリーン会に入会して10年になります。今回、連絡係りをする事になりました。福岡出身、結婚40年、子供は男の子2人（と言っても、もうおっさんですけど…）。猫大好き人間で、現在2匹飼っております。

12年ほど前から、旅行会社に名前を置き、ガイドの仕事しながら、麻雀したり、ヨガに行ったり、忙しい毎日を送っています。そんな私ですが、グリーン会の為に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

◎ 連絡担当：Brewer パット

今度新しく役員になりましたパットです。アメリカに来てから瞬く間に45年が過ぎました。

振り返ってみるとなんか無我夢中で働いたように思います。その間に両親はわがままに育った私を心配して20回もアメリカに様子を見にきました。大正、昭和を力強く生き抜いてきた両親にとって私のアメリカでの生活

は、家、車すべてのものを月賦で買うということが、余程、貧乏暮らしに見えたようです。そのために渡米する度に、また私が里帰りする度毎にお金を持たしてくれました。今もそれは変わらず――

その両親に心配かけまいと息子が小さい時、腎臓の病を患って6年間も病院通いをして知らせないで隠しようしました。その息子も2人の娘も大学を卒業し、そして今度は私が恩返しを、親孝行をしようと思っっているうちに父は癌で亡くなってしまいました。両親の期待には応えられなかったけれど沢山の経験をしたために人間的に少し強くなったような気がします。

無我夢中で26年間働いた会社AT&Tを退職したのが15年前、あっという間に月日が流れ、その間に油絵、陶芸、お茶、墨絵、太鼓、手芸、お料理、お花と色々なクラスをとりました。

いつまでも若い若いと思っていたのに長い年月の中でいつのまにか《精神の若々しさ》まで失い、その上、常に成功を旨として持ち続けてきた《情熱》をも無くしてしまったように思います。

最近夫婦して病と向き合う、病と共に生きていかざる年齢になってしまいました。その中で多くの友と出会い、お互いいかなる病気も克服していこうと励ましあうなかで、いかに健康を維持していくことの大切さや難しさを学ぶことができました。特に老いゆく母のアルツハイマー病に接した時には、母の薄れゆく記憶の中で《いつか忘れ去られてしまうだろう自分》を思うと悲しいやら寂しいやら情けないやら悔しいやら――。その私の嘆く姿をみて主人が「希望をもち感謝の心で1日1日を有意義に楽しく生きていこう」と背中を押してくれています。

そんな私ですが役員を引き受けた以上会員の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

◎ 名簿・会報担当：上田 知栄子

グリーン会が発足してから、はや10年、私も夫の誠も発足当初からの会員です。新年会やお雛様の会、医療講演会、名曲を聴く会、ブルーベリー狩り、ビアガーデン、BBQパーティー、忘年会、落語と、思えばたくさんの催しを楽しんできました。素敵な友人との出会いもありました。ダラス・シンフォニーで少々気取ってディナーとオーケストラを楽しんだこともありました。本当に歴代の役員の方々には、このような機会を作ってくれたことに大変感謝しております。

白状しますと、役員になったのは会長に声をかけられ、エキササイズの仲間からも「一緒にしよう！」と背中を押されたからでした。「もし私が役員を引き受けるとなると何がで

きるだろう」と、以前から考えてはいました。この数年、名簿がなかった事や、いろは新聞、日本人会会報などの制作の一端を手伝っている関係もあって、会員名簿と会報の担当をすることに致しました。勿論これは最初から夫の全面協力をあてにしたものです。そして夫は私以上に熱心に取り組んでくれています。

最後に、今までの役員の方々のようにスマートにいかないこともあるかと思いますが、新役員全員で力を合わせ、グリーン会が皆様の為になる会になるよう努力したいと思っております。良いアイデアや会場の情報、会報の記事などがありましたら、役員の方までご一報下さい。どうかご協力をお願い致します。そして、来年こそは女性の会長が登場することを期待しております。

新会員紹介

会員自己紹介

中橋 兼三

グリーン会の皆様、初めまして。昨年ダラスグリーン会に参加させていただいております中橋です。新参者ですので簡単に自己紹介をさせていただきます。

ダラスには仕事の関係で2000年6月に赴任しました。初めての海外出向で、当初の赴任期間は3年間の予定でしたがずるずると延び、途中で現地採用に切り替えて残留することになりました。それも昨年3月でお役御免になり現在はどなたか同様「毎日が日曜日」状態の生活です。赴任期間の最初の5年間は単身赴任でしたが2005年以降は家内(昌子)が合流しております。子供なし、ペットなしの二人暮らしです。

単身赴任時代は多くの駐在員同様、他にす

る事もないのでゴルフを毎週、土曜と日曜にやっていました。ゴルフは今でも続けていますが回数は大幅に減っています。もともと運動神経が良い方ではないのでやった回数割にはうまくありませんし最近歳がせいかどンドンとスコアが落ちており100を切るのがやっとです。数少ない自慢のタネは私も家内も「ホールイン・ワン」を達成したことです。時期、コースはそれぞれ異なりますが下手な二人が揃ってエースを達成するのは何かの因縁でしょうか。

ダラスに来る前は私も家内も「ダラス=砂漠の中にある町」みたいなイメージを持っておりましたが来て見たら緑がいっぱいのきれいで大きな「町」でびっくりしました。

赴任当時(2000年頃)はまだあちこちに空き地や牧場がありレガシー以北は家も少なくとてもものんびりした感じでしたがこの

10年くらいで多数のアパートや家、オフィスビルが建ち並び急速に変わって来ています。車もすごい勢いで増えているようで道路は平日の遅い時間でもけっこう混んでいたりしますので運転にも気を使います。昔は夜の9時を過ぎたらほとんど車は走っておらず運転も楽なものでした。

私は日本ではずっとペーパードライバーでしたし今でも運転は得意な方ではありませんので空いている道が好きですが今はどこもかしこも車でいっぱいですね。赴任仕立ての日夕方、会社の周りで運転の練習をしたのが

なつかしいですが今は周りに家も建ち交通量も増えたのでせいぜい駐車場で練習するのがやっとなのでしょうか。ダラスはのんびりと人目をあまり気にしないで暮らせる街と言う所が気に入っていたのですがこのような変わり方ではこの先どのようになるのか気になっています。

趣味も無く、文章を書くのが苦手のため愛想が無くして申し訳ありませんが「自己紹介」はこの辺で終わりにさせていただきます。機会がありましたら皆様とどこかでお会いできることがあると思いますのでその節はよろしくお願い致します。

会員広場

「私の85年」

ジョン・ハ

私は西暦1930年（昭和5年）、旧・大阪府泉北郡八坂町の現・大阪府和泉市幸町（JR阪和線信太山駅）で生まれ、小学校（当時国民学校）を終えて中学3年の秋まで15年間住んで居ました。

帰国後45年間母国で暮らしアメリカに移住して25年、合わせて85年に成ります。此の3カ国で暮らしながら、特に心に残る思い出を辿って行きたいと思います。

● 日本 -----

1) 映画館

私は5歳の頃から映画館に通う様に成りました。其の切っ掛けは近所に住んでいた28歳の独身男性で私の家族とは本当に親しい中で、時々、家に遊びに来ては私を連れて映画館に通う様に成りました。5歳の時の映画は無声でした。

小学2年の時、彼が結婚して東京に引越すまで映画館通いが続いていましたが、残念ながら終わりました。しかし、此の

映画館通いの御蔭で映画と俳優に興味を持ち続けた為、有名な俳優に対するプロフィールを殆ど詳しく知る様になり、学校のクラスでは若干人気者でした。今、私が色んな芸術分野に関心を持ち、楽しむ様になったのも彼の御蔭だと思って居ます。

2) 学校旅行

小学校の時、1年に2回旅行が有り、春は電車で近畿地方で有名な名勝（伊勢、奈良、京都、吉野山、高野山、大阪城、和歌山城）を巡り、秋には遠足で近辺の有名な山、川、神社、寺などを歩いて往復しました。疲れましたが大変楽しかったです。

日本を訪問する度に必ず小学校時代の旅行先を巡りながら、昔、楽しかった事を振り返り過去に戻ったりします。

3) 水練学校

大阪のJR阪和線（天王寺一和歌山間）に東羽衣駅が有り、下車してすぐ近くに浜寺海水浴場が昔、有りましたが、今は埋め立てにより工業団地になっています。天気が良い時には淡路島が良く見えました。此の海水浴場に伝統深い毎日新聞社主催の水練学校が有

り、此の学校に夏休みを利用して小学4年から6年迄、3年間通い続けて卒業しました。

卒業テストは水泳全科目に渡って行われました。其中で一番辛かったのが50kmの遠泳で、夜明けと共に出発して日暮れに帰ってくる重労働の遠泳でした。良く辛抱出来たと思っております。3列に並んで出発する時、列の両側に数台の小船が一緒に付いて行き、途中、脱落者が出るとその小船に乗せて行きました。折り返し点の泉大津で一度上陸して昼食を取り、30分程休んで再び泳ぎ始めました。

長い時間が過ぎ、出発点に戻った時は日暮れで、完全に腹ペコ状態で海水から陸上に上がった瞬間、膝がよろめいて一瞬倒れそうに成りました。役員の方が準備していた甘酒を配ってください、美味しく飲んだ記憶が残っています。

4) 身体検査

其の頃、夏になると必ず海水浴場に通っていた為、体が他の生徒よりも鍛えられて居ました。小学6年の身体検査で肺活量の検査を受けた時です。担当の先生が私の測定値を見ながら測定器が故障じゃないかと言い、再測定をしましたが同じ結果が出ました。多分、其の測定値が意外と高かった為、先生たちが驚いていたんでしょう。

● 韓国 -----

1) 母国語

母が片言の日本語しか出来ませんでしたので、母との会話は何時も韓国語で話して居ました。その御蔭で帰国して中学校に転校した際、聞き取りには殆ど不便はしませんでした。しかし、日本で使っていた母との韓国語の訛りが酷かった為、相当長い間皆にからかわれて居ました。

2) 学校教育

日本の教育関係者が全員帰国した為教員不足が激しく発生し、全国的に臨時教員を募集し合格者は一旦教員養成所に入所し、所定の期間教育を受けた後最終選抜テストを行い、合格者を各学校に派遣させたりして、その難

関を凌ぎ新しい教育に励んでいました。

中学校に転校したのは戦後3カ月頃でしたので、ちゃんとした教科書がなく臨時の教科書でした。また、韓国語の参考書が殆ど無かったので、古本屋で日本語の参考書を買って勉強をしていました。

● アメリカ -----

1) 食堂

アメリカに来て3カ月後に普通のサンドイッチ・ショップをオープンし、4年間営業しました。最初の2年間は黒字で、まあまあ順調でしたが3年目から段々悪くなり、あつと言う間に赤字になり、相当損害を受けました。其の理由は私が経営していた食堂の近辺に続々と新しい食堂ができ、全力を尽くしましたが結局お客を他の店に取られて苦戦しました。その時の教訓は「新たな店をオープンする時は空き地の多くあるところは駄目だ」と言う事です。

2) グリーン会

グリーン会と出会ったのは7年程前だったと思います。いろは新聞でグリーン会の記事を見て入会を頼み、特別ケースで入会が許され、その後7年間熱心に通って居ます。

● 最後に -----

私は2つの母国を持っている事を幸せに思っています。此の思いは永遠に続くでしょう。

私は何かと言うと面倒くさがり屋で、旅行はあんまり好きではありません。アメリカに住んで25年間、旅行と言えばサンアントニオ、コーパスクリスティとそして2回のクルーズが全部です。

しかし、韓国と日本の旅は別物です。何回行っても心が落ち着き、エキサイトメントさせてくれます。何回も生まれ故郷の日本を訪問しました。その度に必ず、小学校の同級生に逢いたくて探してみますが、未だに一人も出会う事はありません。大変、遺憾でなりません。市役所と小学校にも尋ねて協力を求めましたが、残念ながら駄目でした。一度は逢って見たいです。

ニュース

「ご存じですか？」 テキサス州の車両登録証と 車検証が一枚になります

テキサス州は今まで別々に発行していた、車検証 (Car Inspection) と車両登録証 (Vehicle Registration) を一枚のステッカーにしたウインドー・シールド・ステッカーを三月一日から発行しています。これはドライバーの交通安全の意識を高め、車検証の偽造を防ぐなどの目的で州と郡の管轄を連携させたものです。

車検はこれまでと同じ、州が認定するステーションで受ける必要がありますが、検査証明のステッカーは発行されません。その検査情報は車検が通れば、直接、州のデータベースへ送られます。カウンティの車両登録の際にその車検と保険の証明が確認できれば、車検証明が組み込まれた車両登録ステッカーが

発行されます。ウインドーシールドに貼るのは一枚のステッカーとなります。

車検は車両登録の 90 日前から有効とされていますので、車両登録の前に車検を済ませておく必要があります。しかし、当局では、今年から来年にかけての移行期間の混乱を避けるためにも、施策として幾つかの例を挙げていますので、参考にして下さい。尚、車検証と車両登録が同じ時期であれば、今まで通り行うことになります。

例 1、今年の車両登録が 5 月、車検が 10 月の場合、今年の 10 月の車検は免除されるので、2016 年の 5 月の登録までに車検 (登録の 90 日前から有効) を済ませておく。

例 2、車検が 5 月、車両登録が 10 月の場合、今年の 5 月の車検と 9 月の登録は通常通り行い、2016 年の車検は 10 月の登録までに行う。詳細は州ウェブサイト「twostepsonesticker.com」まで。

在ヒューストン総領事館からのお知らせ

● 渡航情報

竜巻についての注意喚起

2015 年 3 月 26 日発

1、米国南部及び中西部においては、例年 3 月から 6 月頃は竜巻 (トルネード) が発生しやすく、死傷者を含む甚大な被害が発生する場合があります。

2、昨年は、ミシシッピ州、テネシー州、ネブラスカ州、アーカンソー州等において竜巻により死傷者が発生するとともに、建物損壊等の被害をもたらしました。

3、つきましては、米国南部及び中西部に渡航・滞在を予定されている方及び現在既に滞在中の方は、テレビ、ラジオのニュース、インターネット及び各州の緊急事態庁などのウェブサイト等から常に最新の気象情報の入手に努める等、十分な注意を払ってください。

4、また、万一、竜巻が迫ってきた場合及び竜巻に巻き込まれた場合には、警報等に従い安全確保に努めるとともに、自身の被害等の状況について日本の留守家族及び管轄の在外公館 (日本国大使館、或いは総領事館等) に連絡してください。

《情報の入手先》

連邦緊急事態対処庁：<http://www.fema.gov>

米国ナショナル・ハリケーン・センター：
<http://www.nhc.noaa.gov>



ウエザー・チャンネル：

<http://www.weather.com>

《問い合わせ窓口》

○ 外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：(外務省代表) 03-3580-3311

(内線) 2902、2903

○ 外務省海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>(携帯版)

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>

《外務省関連課室連絡先》

○ 外務省領事局海外邦人安全課

(テロ・誘拐関連を除く)

電話：(外務省代表) 03-3580-3311

(内線) 5139

平成27年度 領事手数料の変更

2015年4月1日以降の申請受付から、下記の「平成27年度手数料」が適用されます。

(在外公館でのパスポート発行手数料は、法律で定められている手数料額にその年度の「外国貨幣換算率」を掛け合わせて算出されますので、毎年額が異なってきます。)

注意点

- ・領事手数料は、交付の際に現金で支払う。
- ・おつりのないようにする。
- ・クレジットカード、パーソナルチェック(小切手)等は受けつけていない。

平成27年度手数料

(2015年4月1日からの申請)

★旅券

- a. 一般旅券発給 10年有効 \$145
- b. 一般旅券発給 5年有効 12歳以上 \$100
- c. 一般旅券発給 5年有効 12歳未満 \$55
- d. 帰国のための渡航書 \$23
- e. 査証欄の増補 \$23
- f. 記載事項変更旅券発給 \$55



★証明

- a. 在留証明 \$11
- b. 出生・婚姻・離婚等身分上の証明 \$11
- c. 署名証明 \$15
- d. 翻訳証明 \$40
- e. 旅券所持証明 \$19

■ 在ヒューストン総領事館

Consulate general of Japan)

住所：2 Houston Center Building

909 Fannin St., Suite 3000,

Houston, TX 77010

電話：713-652-2977

www.houston.us.emb-japan.go.jp/

グリーン会からのお知らせ

マーク・サイプ (Mark Sipe) さんが グリーン会会員になりました！

マークさんはアメリカ国籍ですが、異文化に対し寛大に育てられたためか、日本人、日本文化、日本食、日本の歴史にも親しみ、本格的には都合でダラスから西海岸の各州に移動し、その地の日本人会にも加入していたからです。4年前にダラスに戻ってもその興味は尽きず、日本人の友達もたくさんでき、日本に帰国した友人の助けも借りて2013年には大阪から中国、四国、九州に18日間も滞在し、今年は大阪から北海道まで旅をする

計画をしているそうです。

また、1年半前にはフォートワース日本人会の会員となり日本語クラスをとってスキルアップに励んでいます。昨年のグリーン会大谷牧場のBBQにもゲスト参加をして高感度を持ち、かつグリーン会は地域社会に対し積極的に活動しているので、彼も一員となり協力したいし、会員と親交を深めたいとの意向です。

役員会ではこれらの状況を踏まえて総合判断し、マークさんのグリーン会会員資格を認定しました。

記：柴山

2015 年度会員名簿

3月25日には2015年度会員名簿をPDFファイルにしてEメールで送付致しましたが、皆様のお手元に届きましたでしょうか。その後、訂正の連絡も2、3届いていますので、校正したものを再度送る予定をしています。間違いがありましたら上田知栄子の方までご連絡下さい。

尚、緊急用の電話連絡網は役員が担当の会員一人ひとりに連絡をする形を取りますので、皆様には配布いたしませんのでご了承下さい。特に必要な方はEメールでお送りしますのでご連絡下さい。

Eメールは chizaki@verizon.net 又は電話 972-414-1748 までメッセージを残して下さい。

記：会報担当 上田

記事・投稿のお願い

グリーン会では年に4回の会報を皆様のお手元に届けています。

今年も役員会では皆様からの記事・投稿を募集しております。



旅行記や耳寄りの情報、何か困った事、毎日の生活で気づいたこと等、興味のあるお話がありましたら、是非、会報担当（上田）までEメール chizaki@verizon.net 又は、電話 972-414-1748 にメッセージを残して下さい。

次回会報は7月を予定しています。締め切りは7月5日になりますので、どうぞよろしくお願い致します。

記：会報担当 上田

